

## 認定品種水稻うるち「西南89号」について

農業研究センター 天草農業研究所

### 研究のねらい

消費者のうまい米志向の高まりから、全国で良食味米の作付拡大や栽培の早進化が図られている。今後、産地間競争が激化するなかで、早く出荷できる良食味品種の導入が強く求められている。

このため、平成元年から良質・良食味の極早生品種の選定を行った。

### 研究の成果

#### 1. 来歴

「ふ系125号」を母とし、「奥羽301号」を父とした人工交配品種である。

#### 2. 品種特性

- (1) 成熟期は「コシヒカリ」より4～9日早く、早期栽培においては早生の品種である。
- (2) 稈長は「コシヒカリ」より15～20cm低く、穂数はやや多い短稈・穂数型品種である。
- (3) 収量性は「コシヒカリ」よりやや低い。
- (4) 玄米はやや小粒で、心白、腹白少なく品質は良好である。食味も「コシヒカリ」程度である。
- (5) いもち病は「コシヒカリ」よりやや強く、耐冷性は「コシヒカリ」よりやや弱い。

#### 3. 普及地域 天草地方等の海岸島しょの早期栽培地帯

### 普及上の留意点

- (1) 出穂・成熟期が「コシヒカリ」より早いので、カメムシ害・雀害を避けるため、栽培圃場の集団化を図る。
- (2) 収量性がやや劣るため、低地力田を避け移植後7日以内に分けつ肥を施す等、十分な生育量を確保するよう肥培管理に留意する。
- (3) 障害型冷害に「コシヒカリ」より弱いので、山間部等の冷や水の掛かりやすい水田及び出穂前後に低温が予想される地域での栽培は避ける。
- (4) 縞葉枯病には罹病性なので防除を徹底する。

表1 生育特性

系統名 又は 品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	穂いも ち病
西南89号	7.3	8.5	73	16.0	421	1.4	0.2
コシヒカリ	7.10	8.13	88	18.3	406	2.3	0.3
テンリョウ	7.15	8.19	80	19.6	411	0.0	0.0

注) 平成元年～平成4年の平均値

表2 収量及び品質

系統名 又は 品種名	玄米重 (kg/a)					玄米 千粒 重	品質	検査等級			
	H1	H2	H3	H4	平均			H1	H2	H3	H4
西南89号	50.1	48.5	33.0	46.2	44.5	19.8	2.2	1.中	1.中～1.下	1.中～1.下	1.下
コシヒカリ	54.2	56.9	30.5	55.2	49.2	20.9	3.2	1.下	2～3	1.下～2	1.中～1.下
テンリョウ	52.3	52.9	42.4	51.9	49.9	21.1	2.9	1.下	1.下～2	1.下～2	1.中

表3 食味検定結果

年次	系統名 又は 品種名	食味検定項目						総合評価 における 有意差
		外観	香り	味	粘り	硬さ	総合評価	
H3	西南89号	+0.450	-0.300	-0.350	-0.150	-0.450	-0.050	0
	キヒカリ	+0.350	-0.100	-0.000	-0.000	-0.600	-0.550	0
	テンリョウ	-0.500	-0.850	-0.650	-0.350	-0.300	-0.950	-
H4	西南89号	+0.143	-0.107	+0.143	+0.357	+0.071	-0.143	0

注) 天草農業研究所による(基準米: 天草農業研究所産「コシヒカリ」)